

関東米粉食品メールマガジン

第159号 26.6.25 【毎月1回発行】

(18.7.20 創刊)

関東米粉食品メールマガジンは、**関東米粉食品普及推進協議会**が、会員の皆様から寄せられた様々な情報をもとに、米粉の利用拡大のために情報発信しています。

目次

- <1> 取組事例の紹介
- <2> イベント情報
- <3> 各都県事務局からのお知らせ
- <4> その他のお知らせ

< 1 > 取組事例の紹介

「大学は美味しい!!!」フェアに米粉スイーツ&和菓子を出展<東京都>



5月28日(水)から6月3日(火)にかけて、新宿高島屋にて第7回「大学は美味しい!!!」フェアが開催されました。

"論文の代わりに製品で「食」の研究成果を伝える"をテーマに、教授と学生たちが共同で開発に携わった"大学発"のうまいものを紹介する「食の学園祭」として人気を博しているこの催しに、今年も全国からたくさんの大学が参加しました。

最初にご紹介するのは、東京家政大学の栄養学科の学生が主催する**白藤プロジェクト**(とうきょう米粉ネットワーク会員)が、新潟県長岡市の株式会社美松(ガトウ専科)とコラボしたスイーツ「米粉deあにまる」です。

2011年に開発された小麦・卵・牛乳不使用の「米粉のシュークレープ」は、食物アレルギーのお子さんを持つ親から、多くのニーズがありました。また、今回新たな製品を開発するにあたり、板橋区内の保育園や幼稚園を対象に、どのような製品が求められているのかをアンケート調査を実施し、その結果を受けて小麦・卵・牛乳・大豆不使用の「米粉deあにまる」が誕生しました。



◀おそろいのポロシャツを着込んだ白藤プロジェクトのメンバー

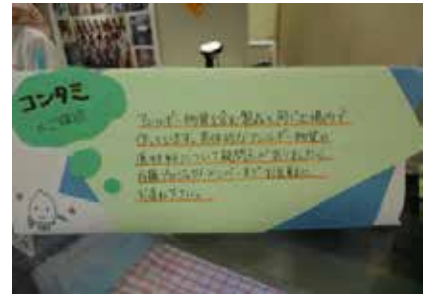
◀コラボ製品の「米粉deあにまる」▶





◀お子様向けに「うさぎ・かえる・ねこ」の3種類を用意

アレルギー対策として、コンタミネーションに対する注意書きも▶



次に紹介するのは、目白大学短期大学部が「食料自給率向上に貢献をしたい」というコンセプトの下、千葉県成田市の和菓子メーカー米屋株式会社とコラボして作り出した「メジゾーどら焼き」です。小豆粒あんとさつま芋あんの2種類があり、米粉で作った生地は、ふんわり・しっとり感があります。将来の一般販売に向けて期待が持たれます。



◀目白大学短期大学部のマスコットキャラ「メジゾー」のイラストが入ったどら焼き

笑顔で接客する目白大学の学生さん▶



○第11回全国米粉食品普及推進会議の開催について<東京都>

6月2日(月)、食糧会館(東京都中央区)において、第11回全国米粉食品普及推進会議が開催されました。第10回から2年ぶりの開催となり、各地方ブロックの協議会から代表者8名と事務局を担う各地方農政局等が参加しました。

会議は、農林水産省から米粉の情勢について説明の後、米粉普及活動等について6の事業者、団体から報告が行われました。その中からいくつかの取組を紹介します。

1 みたけ食品工業株式会社

米粉の普及が進まない要因の一つである小麦粉との価格差を解消することを目標に、平成25年度から国の事業を活用し製造設備に改良を加えた製粉コスト低減技術の開発に取り組んだ。これにより時間当たりの処理能力が10倍に増加し、作業人員も4分の1以下に削減することが可能となった。さらに、製粉歩留を15%アップすることに成功し、平成25年度中の数値目標であるkg当たり150円を達成することができた。

2 農業法人有限会社甲賀もち工房

もち米の生産から加工・販売までを一貫して行う中、6次産業化の認定を受けている。もち製品の需要期が季節により変動が大きいことから、その対応策として米粉商品の開発・販売などの米粉事業に取り組んでいる。「甲賀もちふる里まつり」(これまで毎年1回、計17回実施)においては「米粉まつり」と銘打って、消費者交流と米粉の普及拡大、事業者間交流・情報交換の場づくりを行っている。

3 株式会社米粉屋

アレルギー疾患を持つ児童にも他の児童となるべく同じ物を食べさせたいとの思いで、平成23年に

株式会社米粉屋を設立。主に米粉および加工品を県学校給食会へ販売。友人からハワイのお土産としていただいたパンケーキの素にヒントを得て、水と混ぜて焼くだけの「米粉のパンケーキミックス粉」を当社オリジナル製品として開発。平成 25 年には米粉スイーツ直売店を開設し、上記商品の販売を手掛ける一方、米粉料理教室やイベント、フェイスブック等で普及活動にも力を入れている。

その後の意見交換では、米粉はメーカーによって水分の吸水率に違いがあるため、他のメーカーや料理講習会等のレシピを参考に料理を作ってもうまくいかないことがあり、米粉は扱いにくいとの意識を消費者に持たせている面があることから、米粉の品質に統一規格を設けるべきではないかとの意見が出された一方、設備上の制約から一律の規格に沿って米粉を生産することが難しいメーカーもあるので、現状ではそれぞれの製品パッケージに使い方をしっかり明記するという対応が現実的であるとの意見が出されました。

最後に高木全国協議会会長からのまとめとして、消費者に親切な表示、レシピの整備が必要である。「食料・農業・農村基本計画」の見直しが行われるが、見直し内容を踏まえ当協議会として今後の米粉の普及方法を検討してきたいとの話があり、終了となりました。

会議資料については、下記の農林水産省 HP からご覧いただけます。

http://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/komeko/k_suisin_kaigi/11.html

< 2 > イベント情報

「親子米粉料理教室」の参加者募集!!(栃木県)

栃木県米粉食品普及推進協議会では、「親子米粉料理教室」の参加者を募集しています。夏休みの思い出作りに、米粉を使ったピザ・ホットケーキ作りに挑戦してみませんか？

なお、お申し込みにあたっては、開催日時・場所・募集定員をご確認ください。(定員数に達し次第締切とさせていただきますのであらかじめご了承ください。)

主 催：栃木県米粉食品普及推進協議会
講 師：株式会社波里(栃木県米粉食品普及推進協議会会員)

【 会 場 】

日 時：平成 26 年 8 月 1 日(金) 午前 10 時～
場 所：公益財団法人栃木県学校給食会 宇都宮市砂田町 6 6 9
定 員：小学生の親子 30 組

【お申し込み方法】

参加をご希望の方は、電話、はがき又は FAX にて、郵便番号・住所・氏名(保護者・お子様の学年)・電話番号を明記の上、お申し込みください。

申込先

〒320 - 0806 栃木県宇都宮市中央 2 - 1 - 16
関東農政局宇都宮地域センター 「親子米粉料理教室」係
電 話 028 - 633 - 3314
F A X 028 - 633 - 3401

締切日 平成 26 年 7 月 25 日(金)必着

【参加費】

1組あたり500円(材料代として)ご負担いただきます。

【お問い合わせ先】

関東農政局宇都宮地域センター

農政推進グループ 経営所得安定対策チーム 担当:津久井

電話 028-633-3314

FAX 028-633-3401

農林水産省米粉特別展示への出展募集(東京都)

農林水産省では、以下の各イベントについて米粉消費拡大に向けた出展を予定しています。つきましては、各種米粉商品の展示用のサンプルをご提供いただける企業・団体様を広く募集いたします。ご賛同いただける方は、別添の申込書にて、お申し込みいただくようお願いいたします。また、宣伝ポスター等の掲示を希望される場合は、併せてご提出下さい。

申込期限:7月11日(金)まで

【開催イベント予定】

8月6日(水)～7日(木)「26年度 子ども霞が関見学デー」
開催場所:農林水産省7階 講堂
9月1日(月)～5日(金)「26年度 消費者の部屋 米粉特別展示」
開催場所:農林水産省 消費者の部屋
10月31日(金)～11月1日(土)「26年度 実りのフェスティバル」
開催場所:サンシャインシティ ワールドインポートマート

「米粉^{ペー}米級グルメ王座決定戦」出店者募集!(埼玉県)



関東米粉食品普及推進協議会は、公益社団法人米穀安定供給確保支援機構との共催により、米粉のさらなる普及拡大のため、昨年ご好評をいただきました「米粉米(ペー)級グルメ王座決定戦」を、今年も開催いたします。

このイベントは、各地で開催されているB級グルメコンテストを参考に、関東一円から出品された米粉製品を会場で実際に食べていただき、投票によってグランプリを決定するものです。

自慢の米粉製品のアピールの機会として、ふるってご参加下さい。

第1次募集締切:平成26年8月末日

詳細につきましては、協議会事務局までお問い合わせ下さい。

< 3 > 各都県事務局からのお知らせ

米粉料理教室の講師募集!!(埼玉県米粉利用食品推進連絡会)

最近の米粉への関心の高さから、米粉料理教室が各地で開催され、埼玉県米粉利用食品推進

連絡会にも講師派遣依頼のお問い合わせをいただいております。

家庭での米粉の利用拡大につなげることを目的に、当米粉連絡会においても講師をお引き受けいただける会員の皆様に登録をしていただきたいと思いますと考えております。

つきましては、下記のとおり講師をお引き受けいただける方々の募集をいたしておりますので、ふるってご登録されるようお待ちしております。

募集の案内はこちらからご覧いただけます(PDF形式ファイル)。

http://www.maff.go.jp/kanto/syokuryou/syouhi/sin-komeko/kyougikai/saitama/pdf/koushi_panfu.pdf

米粉に関する情報をお寄せください！(埼玉県米粉利用食品推進連絡会)

埼玉県米粉利用食品推進連絡会では、会員の皆様はじめ米粉に関心のある方から広く情報を寄せていただき、ホームページ、メールマガジンなどを通じて発信していきたいと考えております。

これまで以上に情報をいただくために下記のとおり「**米粉情報連絡表**」を作成しましたので、ご利用いただき、事務局あてメール、FAX等でどんどんお知らせください。

連絡表の様式は下記リンクからダウンロードできます。(エクセルファイル)

<http://www.maff.go.jp/kanto/syokuryou/syouhi/sin-komeko/kyougikai/saitama/index.html#renraku>

< 4 > その他のお知らせ

○平成 26 年度国産応援ポイントプログラム「こくポ」説明会の開催について

農林水産省では、消費面から食料自給率の向上を図るため、平成 24 年度から国産食料品等の購入を対象とした「国産応援ポイントプログラム『こくポ』」事業を実施しております。これまで、大手流通食品メーカー、地域小売店舗、通販サイト、直売所、旅館など、様々な業種にご参加いただき、全国展開を図ってまいりました。

平成 26 年度も引き続き本事業を実施し、下記の日程で事業の説明会を開催いたします。ご多用中のこととは存じますが、ぜひご参加ください。

なお、お手数ですが、参加登録、ご質問等につきましては、下記までご連絡をお願いいたします。

記

日 時:平成26年7月11日(金) 13:30～ (所要1時間程度)

場 所:東京都千代田区霞が関1丁目2番1号
農林水産省 北別館1F 統計部第3、第4会議室

< 参加登録、お問合せ先 >

農林水産省大臣官房食料安全保障課食料自給率向上対策室 田中、吉川、中祖

TEL:03-6744-0487 FAX:03-6744-2396



「こくポ」とは
国産食品の購入を促進することを目的とした、
ポイントプログラムです。
対象の国産商品を買うと、抽選でプレゼントが
当たります。

「食べて応援しよう！」の取組について

関東農政局では、東日本大震災の被災地産の食品を積極的に消費することにより、産地の活力再生を通じて被災地の復興を応援するため「食べて応援しよう！」を共通のキャッチフレーズに、さまざまな取組の呼びかけを行っています。

ご賛同いただける方のご参加をお待ちしております。

- ・関東農政局PR用リーフレット(PDF形式)(関東農政局HP)
http://www.maff.go.jp/kanto/ouen/pdf/tabete_ouen.pdf



米粉食品に関する情報は・・・

<http://www.maff.go.jp/kanto/syokuryou/komekojouhou/>

関東米粉食品普及推進協議会を募集！「各都県協議会事務局まで」

<http://www.maff.go.jp/kanto/syokuryou/syouhi/sin-komeko/kyougikai/>

FOOD ACTION NIPPON「米粉倶楽部」公式サイト

<http://www.syokuryo.jp/komeko/>

皆様のご意見・ご質問、ご要望をお待ちしています！

関東米粉食品普及推進協議会事務局 (関東農政局 生産部生産振興課内)

TEL : 048-740-0100 (直通)

FAX : 048-601-0533

*メルマガバックナンバー <http://www.maff.go.jp/kanto/syokuryou/syouhi/sin-komeko/merumaga/>